

急性期病棟における、終末期患者。家族への看護実践と患者家族が考えるケアに対する 調査の研究について

この度海老名総合病院看護部では入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施させていただきます。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護について法令等を遵守し研究を行わせて頂きます。

試料・情報について、本研究への利用をのぞまれない場合は以下担当医師にご連絡ください。

1. 研究目的

急性期病棟における、終末期患者・家族への看護実践と患者家族が考えるケアについて明らかにする

2. 研究方法

1) 研究対象

①B病棟に勤務している同診療科臨床経験年数6年目以上の中堅看護師。

②①の中で、終末期患者・家族に対して看護経験があり、具体的なプロセスについて語ることが出来ると申し出た看護師

※パトリシア・ベナーの習得段階レベルでは、看護師を5段階に分けている。中堅レベルの実践は、通常類似の科の患者を3～5年ほどケアしてきた看護師にみられると述べられており、その上段階の達人レベルになると年数は定められておらず、長期間の勤務経験を経て、徹底的な観察能力を身に着けたものになると述べられている。

③看護師が推薦した印象のある患者の家族

(遺族) 具体的なプロセスを語れる事例のみ。

※ボウルビーとパークスの悲嘆のプロセスより

切なる思い/思慕と抗議(2-4週頃がピーク)症状の改善を認める段階:約

2ヶ月看取りから約2ヶ月以上の患者家族とする。

2) 実施期間: 2024年4月～2026年3月

3) 研究方法

1) 同意取得: 文書および口頭による説明

2) データ収集: インタビューガイドを用いて半構造的面接を行う。

インタビューは、研究対象者の同意を得て記録したものを使用し、録音データを逐語録に置き換え、コード化する。

3) インタビュー内容.

B病棟に勤務する研究対象看護師に、今までの終末期患者・家族との関わりの経験から、ジレンマや成功。失敗体験、障壁に直面した事例に対しどのように克服したか、その際の留意点、実際の行動

4) 分析方法:聴取した内容から、類似性・相似性を意味のある塊に集約しカテゴリー化する。終末期を迎えた家族のニーズについて、想いと共に検証する。

【家族】

1) 同意取得:事前に、研究協力依頼書の送付に関する意思を確認するための文書を、返信用封筒を同封し郵送する。送付の同意を得られた家族, 説明文書・同意書・同意撤回書を郵送(返信用封筒同し、同意を得られた家族、は、インタビューの日程調整を実施する。

2) データ収集:インタビューガイドを用いて半構造的面接を行う。

インタビューは、研究対象者の同意を得て記録したものを使用し、録音データを逐語録に置き換え、コード化する。

3) インタビュー内容:告知時の思い、看護師との関わりの実例とその時感じた思いなど

4) 分析方法:聴取した内容から、類似性・相似性を意味のある塊に集約しカテゴリー化する。

4) 研究成果の公表

3. 試料・情報

4. 外部への試料・情報の提供

個人が特定できる情報(氏名、住所、生年月日など)は除外した形でデータ集積を行います。

データの紛失・改ざん・漏洩などを防ぐためデータベースへのアクセスはID・パスワード等、適切に管理しています。

収集した匿名化データは海外含む学術研究施設に提供されますが、診療の質評価および研究目的以外には使用致しません。研究成果は個人が特定できないような形で発表を行います。

5. 本研究責任者およびお問合せ先

本研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問合せください。お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済の研究結果からの削除は出来ない場合がありますのでご承知くださいますようお願い致します。

施設名 : 海老名総合病院

住所 : 神奈川県海老名市中央 4 丁目 16-1

電話 : 046-233-1311

研究責任者: 看護部 高月いちほ